

みずほCustomer Desk Report 2024/08/01 号(As of 2024/07/31)

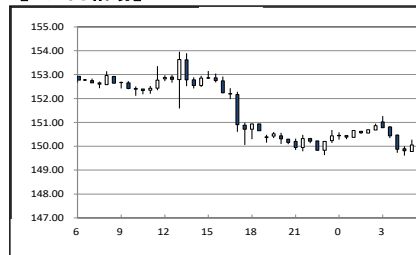
金融市場部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】				公示仲値	152.46
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	152.66	1.0817	165.15	1.2838	0.6541
SYD-NY High	153.95	1.0849	166.50	1.2864	0.6555
SYD-NY Low	149.61	1.0802	162.02	1.2821	0.6480
NY 5:00 PM	149.96	1.0826	162.48	1.2856	0.6541
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	40,842.79	99.46	日本2年債	0.4400%	0.0700%
NASDAQ	17,599.40	451.98	日本10年債	1.0600%	0.0600%
S&P	5,522.30	85.86	米国2年債	4.2575%	▲0.1021%
日経平均	39,101.82	575.87	米国5年債	3.9149%	▲0.1191%
TOPIX	2,794.26	39.81	米国10年債	4.0325%	▲0.1080%
ソコ日経先物	38,700.00	535.00	独10年債	2.3010%	▲0.0400%
ロンドンFT	8,367.98	93.57	英10年債	3.9670%	▲0.0780%
DAX	18,508.65	97.47	豪10年債	4.1080%	▲0.1750%
ハンセン指数	17,344.60	341.69	USDJPY 1M Vol	11.70%	0.57%
上海総合	2,938.75	59.45	USDJPY 3M Vol	10.19%	0.26%
NY金	2,473.00	21.10	USDJPY 6M Vol	9.88%	0.06%
WTI	77.91	3.18	USDJPY 1M 25RR	▲1.97%	Yen Call Over
CRB指数	278.12	3.38	EURJPY 3M Vol	9.77%	0.30%
ドルインデックス	104.10	▲ 0.46	EURJPY 6M Vol	9.46%	0.07%

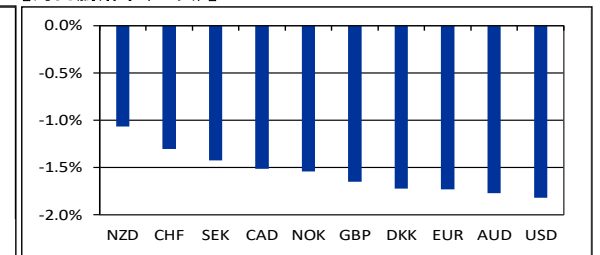
東京	東京時間のドル円は152.66レベルでオープン。午前中は日銀の政策決定会合を控え様子合う展開。日銀の政策決定会合結果が公表されると、利上げしたことを受けて一時151.58まで急落したものの、利上げ幅や国債買入の減額規模が市場想定内の範囲内だったことから円が売られ直し153.95まで急騰するもすぐ値を戻す。その後は152円台後半で推移し、152.75レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、152.75レベルでオープン。日銀の政策決定を受けた円買いが欧州時間に加速。植田総裁の会見がやや効派と捉えられた模様。一時150.05円まで売られ150.20レベルでNYに渡った。ユーロやポンドは米FOMCを控え小動きだった。
ニューヨーク	海外市場のドル円は152円台後半でスタート。日銀は日銀金融政策決定会合で、現行の政策金利を0.25%程度に引き上げた事を発表した他、国債の購入額を26年度第1四半期までに3兆円程度まで減額する事を発表した。続いて行われた植田日銀総裁の記者会見では「見通し対比上振れるような際には、短期金利の一段の調整があり得るということかと思う」等と追加利上げの可能性もあるとの認識を示した事を受け、円買いが優勢となり、150.05まで大幅下落し、その後150.20レベルでNYオープン。朝方に発表された米7月ADP雇用統計と米第2四半期雇用コスト指数が共に予想を下回り、149.63まで下落。その後は午後FOMCを意識したポジション調整の動きから、151.26まで戻す神経質な値動き。午後は米連準理事会が政策金利を5.25%-5.50%に据え置き、同時に発表された声明文では「経済の見通しは不確実で、委員会は2つの使命の両面に対するリスクを注視している」等との文言が示された。続いて行われたパウエル議長の記者会見では、利下げに向けていいデータが続けば、9月に利下げが検討される可能性がある」等とハ派の発言がやや多く見られ、市場はドル売りで反応し、一時149.61まで値を下げる。その後は売り一巡となり、149.96レベルでクロス。一方、海外市場のユーロドルは1.08台前半でスタート。1.0807まで下落する場面もあったが、その後米金利の低下を横目に小幅反発し、1.0828レベルでNYオープン。午前中はポジション調整のドル買いが重しとなり、1.0802まで下落。午後はハ派のFOMCの内容を受け、1.0830付近まで反発し、1.0826レベルでクロス。

【昨日の指標等】					
Date	Time	Event	結果	予想	
7月31日	08:50	日 鉱工業生産(前月比/前年比)・速報	6月	-3.6%/-7.3%	-4.5%/-6.4%
	10:30	製造業・非製造業PMI	7月	49.4/50.2	49.4/50.3
	10:30	豪 小売売上高(前月比)	6月	0.5%	0.2%
	10:30	豪 CPI(前期比/前年比)	2Q	1%/3.8%	1%/3.8%
	12:56	日 金融政策決定会合 政策金利		0.25%	0.10%
	15:30	植田日銀総裁 記者会見	一段の金利調整があり得る		
	18:00	欧 CPI(前年比/前月比)・速報	7月	2.6%/0.0%	2.5%/-0.1%
	21:15	米 ADP雇用統計	7月	122k	150k
8月1日	03:00	米 FOMC 政策金利	31-Jul	5.25%-5.50%	5.25%-5.50%
	03:30	米 パウエルFRB議長 記者会見	次回会合で利下げが議題に上がる可能性		
【本日の予定】					
Date	Time	Event	予想	前回	
8月1日	10:30	豪 貿易収支	6月	A\$5000m	A\$5773m
	10:45	中 Caixin中国製造業PMI	7月	51.5	51.8
	16:55	独 製造業PMI・確報	7月	42.6	42.6
	17:00	欧 製造業PMI・確報	7月	45.6	45.6
	18:00	欧 失業率	6月	6.4%	6.4%
	21:30	米 新規失業保険申請件数	27-Jul	236k	235k
	22:45	米 製造業PMI・確報	7月	49.6	49.5
	23:00	米 建設支出(前月比)	6月	0.2%	-0.1%
	23:00	米 ISM製造業景況指数	7月	48.8	48.5

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	148.50-153.00	1.0750-1.0950	159.60-167.60

【マーケット・インプレッション】

昨日のドル円は152円台後半から始まり、日銀政策決定会合を控え午前中は円高方向へ推移、152.12まで下落。午後に日銀から政策金利を0.25%への利上げ、国債買い入れ減額が発表されると値幅を出し瞬間151円台をつけるも、その後は152円半ばから153円近辺での推移で東京時間は引ける。ロンドン時間には日銀植田総裁の記者会見がタカ派と受け止められ、ドル円は大きく売られて始まり、その後FOMCが政策金利を据え置きを発表。発表を受けドル円は一時151円を超える動きを見せるも、パウエル議長が会見において9月利下げについてオープンであることを発言すると再び、利下げ期待が台頭し、ドル円は下落、149.96で引けた。本日のドル円は、日米の金融政策が中央銀行から示されたことで、輸入勢のドル買いがある程度見られるであろうが、日米中銀の結果はドル円のダウンサイドを支持すると見られることから相応のダウンサイドヘッジのフローが徐々に強くなることを想定。方向感が大きく出ずとも局所的な値幅はある可能性が高くなると見込む。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。